



平成 26 年 12 月定例会

大館市議会会議録（第 4 号）

自 平成 26 年 11 月 25 日 開会
至 平成 26 年 12 月 11 日 閉会

大 館 市 議 会

11月25日（火曜日）

第1日目

平成26年11月25日（火曜日）

議事日程第 1 号

平成26年11月25日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案等の上程

1. 認 第 5 号 専決処分の承認について（平成26年度大館市一般会計補正予算（第 5 号））
2. 報 第 17 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
3. 報 第 18 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
4. 議案第130号 大館市行政手続条例の一部を改正する条例案
5. 議案第131号 大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
6. 議案第132号 大館市国民健康保険高額療養費貸付基金に関する条例を廃止する条例案
7. 議案第133号 大館市指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例案
8. 議案第134号 大館市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例案
9. 議案第135号 大館市消防長及び消防署長の資格を定める条例案
10. 議案第136号 大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
11. 議案第137号 大館市立小、中学校に関する条例及び大館市学校給食センターに関する条例の一部を改正する条例案

12. 議案第138号 大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案
13. 議案第139号 大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案
14. 議案第140号 大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案
15. 議案第141号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案
16. 議案第142号 大館市比内福祉保健総合センターの指定管理者の指定について
17. 議案第143号 大館市へき地保育所の指定管理者の指定について
18. 議案第144号 大館市特別養護老人ホームつくし苑の指定管理者の指定について
19. 議案第145号 大館市養護老人ホーム成章園の指定管理者の指定について
20. 議案第146号 大館市デイサービスセンターかつらの指定管理者の指定について
21. 議案第147号 大館市デイサービスセンター大滝の指定管理者の指定について
22. 議案第148号 大館市ケアハウスほうおうの指定管理者の指定について
23. 議案第149号 大館市斎場及び大館市ペット霊園の指定管理者の指定について
24. 議案第150号 市道路線の廃止について（釈迦内工業団地線外2路線）
25. 議案第151号 市道路線の認定について（釈迦内産業団地線外3路線）
26. 議案第152号 平成26年度大館市一般会計補正予算（第6号）案
27. 議案第153号 平成26年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案
28. 議案第154号 平成26年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案
29. 議案第155号 平成26年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案

出席議員（28名）

1 番	小 棚 木 政 之 君	2 番	武 田 晋 君
3 番	佐 藤 照 雄 君	4 番	小 畑 淳 君
5 番	花 岡 有 一 君	6 番	中 村 弘 美 君
7 番	畠 沢 一 郎 君	8 番	伊 藤 毅 君
9 番	藤 原 明 君	10 番	千 葉 倉 男 君
11 番	佐 藤 久 勝 君	12 番	仲 沢 誠 也 君
13 番	虻 川 久 崇 君	14 番	石 田 雅 男 君
15 番	藤 原 美佐保 君	16 番	斉 藤 則 幸 君
17 番	明 石 宏 康 君	18 番	佐 藤 芳 忠 君
19 番	吉 原 正 君	20 番	佐々木 公 司 君
21 番	佐 藤 健 一 君	22 番	田 中 耕太郎 君
23 番	富 樫 孝 君	24 番	田 村 齊 君
25 番	菅 大 輔 君	26 番	笹 島 愛 子 君

27番 相馬 エミ子 君

28番 高橋 松治 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市	長	小畑	元君
副市	長	吉田	光明君
総務部	長	名村	伸一君
総務課	長	虻川	正裕君
総務課長補佐		桜庭	寿志君
財政課	長	北林	武彦君
市民部	長	日景	省蔵君
福祉部	長	佐藤	孝弘君
産業部	長	飯泉	信夫君
建設部	長	佐藤	雄幸君
会計管理者		石戸谷	清美君
病院事業管理者		佐々木	睦男君
市立総合病院事務局長		虻川	信幸君
消防	長	佐藤	久仁君
教育	長	高橋	善之君
教育次長		大森	公咲君
選挙管理委員会事務局長		山口	由秀君
農業委員会事務局長		若松	俊一君
監査委員事務局長		小林	浩君

事務局職員出席者

事務局	長	花田	一美君
次	長	笹谷	能正君
係	長	畠沢	昌人君
主査		長崎	淳君
主査		大里	克史君
主査		北林	亘君

午前10時00分 開 会

○議長（中村弘美君） これより、平成26年12月大館市議会定例会を開会いたします。

出席議員は定足数に達しております。

よって、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中村弘美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、26番 笹島愛子君、27番 相馬エミ子君、28番 高橋松治君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（中村弘美君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から12月11日までの17日間と定めたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村弘美君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。

日程第3 議案等の上程

○議長（中村弘美君） 日程第3、議案等の上程を行います。

報第17号、同第18号、議案第130号から同第155号まで、及び本日送付ありました認第5号の以上29件を一括上程いたします。

提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

○市長（小畑 元君） 12月定例会の開会に当たり、来春に予定されております市長選挙につきまして、私の所信を述べさせていただきたいと思います。これまでの6期24年、約四半世紀の間、山積する課題に圧倒されながらも議会及び市民の皆様の御理解・御支援のもと一つ一つ種をまき、リサイクル・マイン・パークや5大プロジェクト3大対策、産業構造の変革、高速

交通体系の整備や総合病院の建設、比内及び田代両町との合併、東日本大震災やたび重なる豪雨・豪雪被害への対応等々休みなく取り組んできたところであります。今後も暮らしていく上で必要不可欠な雇用の確保、高齢化や人口減少に備えたまちづくり、本市の持っている資源・魅力の掘り起こしと磨き上げ、未来を担う子供たちへの教育、どれ一つとっても手を抜くことのできない課題であります。特に、現在拡張中の二井田地区県営工業団地や市営釈迦内産業団地への企業誘致、大館駅前開発、人口減少社会への素地づくり、正念場の農業対策、庁舎建設などは一刻の停滞も許されない取り組みが必要と考え、ここに来春の市長選挙への出馬を表明させていただきます。

続きまして、9月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、豪雨災害復旧事業等の進捗状況について。

(1)平成25年8月の豪雨及び9月の台風による災害復旧の状況について。

農地・農業用施設の災害復旧工事については、国の災害査定後の工事予定件数77件のうち、25年度中に46件を発注し、このうち38件で工事を終え、8件で仮復旧工事などを行いました。本年度は、8月21日までに12件を発注済みですが、残る19件の入札が不調に終わっております。これについては、年度内の完成が困難な箇所等も想定されることから、補助事業の取り扱いについて国や県と調整を行っているところであり、本年度中の復旧を目指して年内に発注できるよう進めるとともに、来春の営農に支障を来すことのないよう対策を講じてまいります。農地・農業用施設の小規模災害復旧工事に対する補助事業については、1,002カ所2億973万円の申請があり、11月20日までに708カ所が完了し、1億3,198万円を交付する見込みです。道路及び河川の災害復旧工事については、国の災害査定を受けた95カ所のうち、25年度に53カ所、本年度に31カ所の計84カ所を発注済みで現在34カ所が完成しております。未発注の11カ所についても年度内に発注予定であり、早期の復旧を目指します。局所がけ崩れ対策事業6カ所については、全てを発注済みで現在1カ所が完成し、残り5カ所についても年度内の完成を目指して工事を進めております。

(2)本年8月の大雨による災害復旧事業の状況について。

10月に国の災害査定が行われ、災害復旧工事費等の査定額は、農地3カ所で993万円、農業用施設6カ所で8,137万円、林道施設2路線4カ所で1,712万円、道路2カ所で899万円、河川3カ所で2,870万円となりました。これらの災害復旧事業費については、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

2、第165回東北市長会総会について。

10月15日、16日の2日間、本市では49年ぶりとなる東北市長会総会が開催されました。総会には、67市の市長、7市の副市長が出席し、各県の市長会から提出された特別決議案6件、議案29件について全会一致で承認し、全国市長会へ提出することを決定しました。特別決議においては、東日本大震災からの早期復旧・復興の実現に関する決議のほか、喫緊の課題となって

いる米価下落対策及び稲作経営の体質強化等に関する決議が提案され、ナラシ対策や円滑化対策の制度改善、対象を限定した直接支払い制度の導入などを主旨とした決議が採択されました。今後も市長会等を通じ、本市も含め東北地区が抱える課題等について、他の自治体と連携して国等に要望してまいりたいと考えております。

3、秋田県自動車整備振興会大館北秋田支部との協定締結について。

11月10日、防災体制の強化・充実を図るため、秋田県自動車整備振興会大館北秋田支部と災害時における応急対策への協力に関する協定を締結しました。協定の内容は、本市で大規模災害が発生した場合において、道路交通確保のための障害物等の除去、被災者の救援及び緊急自動車等の整備、支部の会員が保有する応急活動用資機材の提供などを行っていただくというものです。同振興会との防災協定は県内の自治体初となるもので、大規模災害時に交通の妨げとなる放置車両・障害物の撤去を行っていただくことで、災害時の道路機能の確保と迅速な復旧活動に極めて重要な役割を果たすものと期待しております。このたびの協定で締結先は21団体となり、今後もさらなる防災体制の整備に努めてまいります。

4、大館市に対するサイバー攻撃について。

10月24日、本市のインターネット通信に障害が発生したため原因を調査したところ、県内の自治体では例のなかったサイバー攻撃によるものと判明しました。市では、保守業者・プロバイダーと連携して緊急対応を行いました。が、攻撃が続いたため27日に回避策を講じました。この影響で、27日午前から28日正午ごろまで市に対しメールが送信できない、市のホームページが表示されないなどの障害が発生し、市民の皆様にご迷惑をおかけしましたが、幸いにも情報漏えいやデータ改ざんなどの重大な被害はありませんでした。今回のサイバー攻撃はコンピューターウイルスを利用したものであり、犯人の特定は困難でその目的も不明ですが、新たに侵入検知防御システムを導入し、同様の事案が発生した場合は攻撃をブロックできる措置をとったところです。今後も、サイバー攻撃等のセキュリティーリスクに対し、万全の体制で臨んでまいります。

5、敬老事業について。

8月31日から9月23日まで、市内16会場で敬老会を開催し、対象者1万1,732人のうち、3,275人が参加されました。御協力いただいた婦人会や町内会などの皆様には、心から感謝申し上げます。敬老会への参加率はほぼ横ばいの状態ですが、婦人会や町内会の皆様の協力で実施できることは、地域社会のつながりや支え合いが保たれているあかしでもあることから、今後も地域の実情を踏まえ、内容を充実させながら継続してまいりたいと考えております。また、今月20日には合同金婚式を開催し、結婚50年という長い年月をともに歩んでこられた43組の御夫婦に出席いただいたところであります。

6、全国健康保険協会秋田支部との覚書締結について。

11月10日、全国健康保険協会秋田支部と市民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関す

る覚書を締結し、特定健康診査やがん検診等の受診の促進、生活習慣病の発病予防と重症化予防の推進、市民の健康づくりの推進について連携・協力することとしました。高齢化社会の進展による医療費の増大や介護保険の社会的負担増などが想定される中、地域や団体と連携し、市民の健康づくりを推進することが重要であると考えており、今回の覚書締結は市民の健康寿命の延伸と健康増進に大きな効果があるものと期待しております。

7、平成26年の農業について。

本年は、8月に降雨が続いたものの平均気温や日照時間が平年より好条件で推移したことにより、農作物の生育状況はおおむね良好となりました。水稻は、東北農政局公表の「平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量」によると、県北の作況指数は全県の104と同じで「やや良」となりました。また、JAあきた北管内の1等米比率は、今月4日現在、前年比マイナス1.3ポイントの88.7%となりました。新規需要米については、国の水田活用の直接支払い交付金、大館市飼料用米等作付支援事業の助成体系のもと、農業者53人、集落営農5組織が取り組み、作付面積は191.51ヘクタールとなりました。野菜については、アスパラガスは春先の少雨と8月の降雨により一部で品質低下が見られたものの出荷量は平年並み、単価は高値で推移し、販売額は前年を上回りました。枝豆は、品質は良好で出荷量も大幅に増加し、8月後半からは全国的な品薄により単価は高値で推移し、販売額は前年を大幅に上回りました。トングリは、高温による不稔や害虫被害もなく順調に生育し単価は平年並みとなっております。山の芋も同様、順調に生育し肥大・形状ともに良好で収穫も順調に進んでおります。果樹については、リンゴ・梨ともに肥大は良好で出荷が順調に行われております。経営所得安定対策については、5月16日から6月30日までの期間、大館市農業再生協議会を通じて1,645件の加入・交付申請がありました。これらの申請に基づき、米の直接支払い交付金で2億1,037万円、水田活用の直接支払い交付金が戦略作物と産地交付金を合わせて4億7,257万円、畑作物の直接支払い交付金で5,637万円、合計7億3,931万円が支払われる予定です。

8、米価下落対策について。

米の需要減少や在庫増大などを背景に、平成26年産米の価格は全国的に大幅に下落しており、本県における概算金も、あきたこまちで60キログラム当たり過去最低水準の8,500円と決定されました。米価の急激な下落は、地域経済にも深刻な影響を与える事態となっており、特に、地域農業の中心となるべき大規模農業体への影響は甚大で、本市農業を取り巻く環境はこれまでにない厳しい状況にあります。さきの東北市長会総会では、米価下落対策及び稲作経営の体質強化等を国に要望することが決議されたところであり、今後も連携して関係機関に要望を続けてまいります。10月15日に、JA・農業委員会・市で構成する米価下落に伴う農業経営支援に関する緊急対策会議を開催し、県が創設した無利子融資制度について、市が保証料0.5%を全額負担することとし、翌日、農業経営支援に関する相談窓口を設置したところです。また、飼料用米への生産誘導や野菜等の複合作目への転換加速のため、新規需要米等生産拡大支援緊

急対策プロジェクトチームを設置し、市独自の対策を検討しているほか、来年1月からはふるさと納税者に対する特産品プレゼントの大館産あきたこまちの内容を充実させるなど、本年産米の販売促進のための支援に努めてまいります。本市における具体的な米価下落対策については、今後も議会を初め、関係機関の皆様の御意見を伺いながら検討を重ねてまいりたいと考えており、本定例会及び3月定例会に関係予算案を提出させていただく予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。

9、企業誘致の状況について。

県営大館第一・第二工業団地では、ニプロが投資額1億6,000万円で建設工事を行っていたマシニング・モールド棟が完成し、11月1日から操業を開始しております。また、石垣鐵工では、投資額5億6,000万円で建設中の管理棟と第二工場が12月17日に竣工の予定となっております。一方、釈迦内産業団地では、秋田原木市場大館流通センターが10月20日から営業を開始しており、北秋容器木質チップ製造工場は12月中旬の本操業を予定しております。同団地では、この2社がさらなる用地の拡張を希望していることに加え、他の木材関連企業の立地やバイオマス発電と植物工場を組み合わせた施設の立地も検討されていることから、本定例会に用地造成工事費など関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。花岡工業団地では、プレシジョン・システム・サイエンスが建設を進めていた大館試薬センターが今月操業を開始しました。新館工業団地では、戸田精工が社屋移転のため、廃業した企業の土地・建物を取得するとともに、10月14日に新たな工場棟の建設に着手し来年5月の移転を予定しております。羽貫谷地工業団地では、ニューロング秋田が工場内の配置がえ等に伴う製造工場の増設工事中で本年12月の完成を目指しております。このほか、釈迦内地区では昭和木材東北プレカット第2工場が10月29日に操業を開始したほか、比内地域ではアオキが進めていた生地の自動裁断用CAD・CAMシステムの導入と工場増設工事が11月26日に竣工の運びとなり、田代地域では遠藤林業の大館第二工場が今月中の操業を予定しております。10月1日現在、条例に基づく指定工場は66事業所で従業員数は4,543人となり、昨年同期比で41人増となっており、今後も既存企業への支援とあわせて企業誘致をさらに推進してまいります。

10、第42回本場大館きりたんぽまつりについて。

10月11日から13日までの3日間、大館樹海ドームを主会場に開催し、来場者数は過去最高の12万人を記録しました。実行委員の皆様を初め、関係各位の御協力に改めて感謝申し上げます。昨年に引き続き、ふるさとキャリア教育の一環として、小・中学生を中心に1,000人を超えるボランティアの活躍があり、さらには国民文化祭との相乗効果もあり、来場者数の増加につながったものと考えております。また、昨年のきりたんぽ専用だし「郷味」の開発と「比内地鶏ローストチキン」の商品化に続き、今年はレトルトきりたんぽセット「きりたんぽ玉手箱」が完成し、大館の食の産業化がさらに進んだものと考えております。樹海ドームでの開催も3回目となり、本市の一大イベントとして定着しておりますが、今後も皆様からいただいた御意見

を参考に本場大館きりたんぽを大館の食文化として積極的にPRし、ブランド化と生産の拡大を図り、農業・商業・観光の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

11、秋田大館ハチ公フェア in 渋谷について。

11月1日から3日までの3日間、東京都渋谷区において、秋田大館ハチ公フェア in 渋谷を開催しハチ公のふるさととしてPR活動を行ってまいりました。このイベントは、大館青年会議所を中心に県や商工会議所青年部、秋田犬保存会などが実行委員会を結成し、渋谷ハチ公銅像周辺の清掃活動や移住相談コーナーの設置、きりたんぽづくり体験などを実施しました。銅像周辺の清掃活動は、渋谷区・ハチ公銅像維持会など多くの皆様の御協力のもと、和やかな雰囲気の中で行うことができました。本市からは、曲げわっぱ協同組合理事長の佐々木悌治氏の作品「絆」を友好のあかしとして、ハチ公銅像維持会にお贈りしたところであり、今後も渋谷区との交流を継続し、ハチ公のふるさと大館を広くPRしてまいります。

12、秋祭り等の開催状況について。

(1)駅－ONE 2014 大館駅前音楽祭。

9月28日、秋田アフターDCのオープニングイベントとして開催されました。当日は、神明社祭典の山車によるおはやし、小学校のマーチングバンドコンサートなどが行われたほか、多くの出店でにぎわいました。ことしはJR大館駅のイベントである駅サイトも同時開催されたことから3,000人の来場がありました。

(2)五色湖まつり。

10月5日開催の五色湖まつりは、ことしで23回目となり、山瀬ダム多目的広場での大鰐町との交流事業、マラソン大会のほか、ダム地下トンネルの見学会なども開催され、2,400人の来場がありました。

(3)大館圏域産業祭。

10月25日、26日に開催された第17回大館圏域産業祭は、商工展・農業展・産業教育展、県のあきた資源・環境展のほか趣向を凝らしたイベントが行われ、延べ3万9,000人の来場がありました。また、大館青年会議所の主催によるハチ公サミットも同時開催され、渋谷区を初めハチ公に縁とゆかりのある三重県津市・山形県鶴岡市・福島県飯舘村の関係者が集まり、首長対談やパネル展示、各地の物品販売などを行い、今後も交流を継続していくこととしました。

(4)きりたんぽまつり in 渋谷。

11月2日、3日、渋谷区代々木公園できりたんぽまつり in 渋谷を開催いたしました。本場大館の味を毎年楽しみにしている方も多く、2日間できりたんぽ鍋1,100食を完売し、特産品の山の芋やトングリ・比内地鶏の売れ行きも好調でありました。

(5)首都圏ふるさと会。

11月9日にふるさと比内会、16日に東京田代会、22日には首都圏大館ふるさと会が開催され、首都圏で活躍されている皆様に本市の近況を報告するとともに情報交換し、今後も各方面から

ふるさと大館を応援していただくことをお願いしてまいりました。

13、高速バス停留所の新設について。

秋北バス等と協議してまいりました長木川以南への高速バス停留所の設置について、このたび同社から、鍛冶町に停留所を新設することが決定したとの連絡がありました。場所は、鍛冶町の既設のバス停付近で、待合所やトイレについてはハチ公プラザ1階を利用させていただくこととしております。発着する高速バスは盛岡便と仙台便で、JR東日本のダイヤ改正に合わせて平成27年3月中旬から運行開始される見込みです。今後は、運行経路変更などの手続が円滑に進むようバス会社と連携を図り、高速バス利用者のさらなる利便性向上に努めてまいります。市民から多くの要望が寄せられていたこのたびのバス停新設に際し、御協力いただいたバス会社並びに関係機関の皆様には、この場をおかりして改めて御礼申し上げます。

14、第24回大館市生涯学習フェスティバルについて。

9月20日、21日をメインに10月までの2カ月間、中央公民館や勤労青少年ホームなど10会場で生涯学習フェスティバルを開催いたしました。期間中は、秋田職業能力開発短期大学校や北地区コミュニティセンターにおいても作品展や活動成果の発表等の協賛イベントが開催され、約1万3,000人に御参加・御来場いただきました。また今回は、特別講演会としてロンドンオリンピック体操女子代表の田中理恵氏をお迎えし「オリンピックへの道」と題して講演していただきました。今後もさまざまな活動やイベントを通じて市民が生涯学習に触れる機会を提供し、生涯学習の推進に努めてまいります。

15、第29回国民文化祭・あきた2014の開催状況について。

本市では、主催事業として4つのイベントを開催し、盛況のうちに終えることができました。10月5日には大館樹海ドームでマーチングバンド・バトントワーリングの祭典を開催し、地元団体や全国大会金賞受賞校を含め26団体1,265人に出演いただいたほか、昨年のプレ事業を上回る3,528人に御来場いただきました。10月11日に市民文化会館で開催されたゴスペル音楽祭 in 大館2014は、地元のみならず東北・関東地区から計14団体263人に出演いただき、844人に御来場いただきました。翌12日には食文化フォーラムが大館樹海ドームで開催され、市内4校の児童たちが大館ふるさとキャリア教育の一環で栽培した野菜や加工品などのプレゼンテーションや、グッチ裕三氏による地元食材を使った創作料理の実演が行われました。また、10月4日から1カ月にわたり開催されたゼロダテ美術展では、大町商店街の空き店舗などを活用した美術展や御成座での演劇公演などが行われ、期間中は県内外から多くの方々が本市を訪れました。

16、各種スポーツ大会について。

(1)第1回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン。

9月28日に秋田市で開催され、本市の代表チームが総合優勝に輝きました。本市チームは大館市陸上競技協会の協力のもと、監督やコーチの指導、サブメンバーや保護者のサポートなど

チーム一丸となって取り組み、個々の出場選手がすばらしい走りを見せ、記念すべき第1回大会で総合優勝、市の部優勝の栄誉を獲得しました。横手市で開催される来年の大会に向けて市でもサポートしてまいります。

(2)第69回天皇賜杯皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会。

10月24日から26日までの3日間、本市高館公園テニスコートを主会場に本県では初の開催となりました。ソフトテニスの大会としては国内最高峰に位置づけられる本大会には、全国から男女347チーム694人がエントリーし、本市出身選手も男女6人が出場しました。国内トップ選手のプレーに接するまたとない機会に地元ファンのほか県内外から多くの観客が訪れ、3日間で延べ5,800人が来場し、成功裏に終了することができました。

(3)第13回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会。

11月7日から10日までの4日間、男子35チーム、女子19チームが参加して樹海体育館及び田代体育館で開催され、熱戦が繰り広げられる中、男子の部で本市のニプロチームが見事初優勝を飾りました。これらのスポーツ大会での地元選手・チームの活躍は、市民に大きな感動を与えるものであり、改めてその栄誉をたたえとともに今後のさらなる活躍を期待します。また、各大会の期間中、市物産協会を初め関係業者による特産品販売やきりたんぽ鍋の食事提供など、本市の観光・物産を全国にPRしていただき、多くの皆様の御支援・御協力に深く感謝申し上げます。

17、市立総合病院の新医療情報システムの稼働について。

総合病院の電子カルテシステムを含む新医療情報システムが11月3日に稼働しました。導入に当たっては、救急外来を2日間休診するなど御不便をおかけしましたが、これまで大きな混乱もなく順調に稼働しております。新システム導入により、患者さんがカルテを持ち運ぶ手間がなくなり会計の待ち時間も短縮されております。また、病院全体での診察・検査・処方などの情報共有が実現しましたので、今後は本システムを十分に活用しながら、より安全で質の高いチーム医療の推進と患者サービスの向上を図ってまいります。

18、高機能指令センター整備事業の進捗状況について。

本事業のうち、指令センター建設工事は10月末に完了し、現在、センター内に設置する高機能型消防指令装置の製作及び関連機器類の搬入が行われており、その進捗率は11月末で35%となる見込みです。平成27年2月には指令装置本体が設置され、点検及び動作試験等を行い年度内の完成を予定しています。完成後は、昨年度完成した消防救急デジタル無線設備や秋田県総合防災情報システム・大館市防災行政無線などと連動し、119番通報を受けると同時に通報場所がモニター上で確認でき、災害現場の映像がリアルタイムで指令センターに送られるなど、情報の集約及び発信の迅速化が図られ、救命率の向上と市民の安全・安心に大きく貢献するものと考えております。

19、公共事業の進捗状況について。

本年度の主な事業の進捗状況であります。福祉関連では、障害者自立支援システム改修事業が完了し、子ども・子育て支援システム改修事業は進捗率が約60%で既に一部運用を開始しており、来年4月から本格稼働の予定であります。また、3R推進プラザ建設については進捗率94%となり、年内に完成見込みであります。社会資本整備総合交付金事業など土木関連では、二井田片貝沼田線の道路改良が10月末に完成し、二中長面袋線については橋梁新設工事・道路改良工事合わせて約80%、高館橋の補修工事についても約95%の進捗率となっております。教育関連では、小・中学校の耐震改修事業が平均で約98%の進捗状況となっております。水道事業では、田代地区統合簡易水道事業が進捗率約50%、真中簡易水道災害復旧工事は約90%となっており、下水道事業では、大館地域の大田面・観音堂、及び田代地域の茂屋地区で本管理設工事が前年度からの繰り越し分を含めて、平均で約60%の進捗状況となっております。

続きまして、提出いたしました議案につきまして、主な内容を御説明申し上げます。

初めに、本日提出いたしました**認第5号**は、平成26年度大館市一般会計補正予算（第5号）にかかわる専決処分の承認についてであります。

これは、11月21日に衆議院が解散し、衆議院議員総選挙が執行されることに伴い、選挙関連経費として歳出の選挙費に3,740万5,000円を追加し、歳入の国庫支出金に同額を追加したものであり、補正後の予算総額は337億4,103万5,000円となっております。この補正につきましては、本市においても遅滞なく総選挙にかかわる事務を執行するため、特に緊急を要したことから11月21日付で専決処分させていただいたものであります。

報第17号及び**報第18号**は、専決処分の報告についてであります。

報第17号は、本年7月27日の強風により、東台五丁目地内の市道有浦東台線において街路樹の枝が折れ、走行中の小型乗用自動車に当たり破損させた事故。報第18号は、大館野球場からのファウルボールが隣接する住宅に当たり、損傷を与えてきた件にかかわる専決処分であります。この2件につきましては、相手方に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので、御報告申し上げるものであります。

議案第130号は、大館市行政手続条例の一部を改正する条例案であります。

これは、行政手続法の一部改正の趣旨を踏まえ、本市の条例等による処分や行政指導に関し市民の権利利益をより一層保護する観点から、行政指導の中止や違反行為の是正のための処分等を求めることができるよう所要の措置を講ずるとともに、関係する条例の一部を改正しようとするものであります。

議案第131号は、大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案であります。

これは、健康保険法施行令の一部改正により、健康保険等の出産育児一時金の額が39万円から40万4,000円に引き上げられるほか、健康保険法の退職被保険者等にかかわる経過措置が本年度末で満了することに伴い所要の措置を講ずるとともに、一部条文を整備しようとするもの

であります。

議案第132号は、大館市国民健康保険高額療養費貸付基金に関する条例を廃止する条例案であります。

これは、国民健康保険高額療養費貸付基金について、医療保険制度等による負担軽減措置が整備されている状況に鑑み、これを廃止しようとするものであります。

議案第133号から議案第135号までの3件は、いわゆる地域主権改革一括法の制定に伴い、従来、国が定めていた事業の人員等の各種基準については、地方公共団体の条例で定めることとされたことから新たに条例を制定しようとするものであります。

これらのうち、議案第133号は指定介護予防支援事業所の人員及び運営、介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準について、議案第134号は地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準について、議案第135号は消防長及び消防署長の職に必要な資格について定めるため、それぞれ条例を制定しようとするものであります。

議案第136号は、大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、道路法施行令等の一部改正により、道路占用料の額を定める所在地区分が3区分から5区分に細分化されたこと、道路占用料の額が地価水準の変動を反映した額に改正されたこと等に伴い、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第137号は、大館市立小、中学校に関する条例及び大館市学校給食センターに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成27年4月1日から第二中学校・花岡中学校及び矢立中学校を統合し、北陽中学校として開校することに伴い、関係する条例2件について所要の措置を講じようとするものであります。

議案第138号は、大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案であります。

これは、下川沿公民館を改築することに伴い、研修室等の名称及び有料使用の場合の料金を定めようとするものであります。

議案第139号は、大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案であります。

これは、児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の施設の設備、事業の運営などにかかわる各種の基準については、地方公共団体の条例で定めることとされたことから本条例を制定しようとするものであります。

議案第140号は、大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、児童福祉法の一部が改正され、放課後児童クラブの対象が小学3年生から6年生までに引き上げられることから本市においても所要の措置を講ずるとともに、児童クラブごとに異なっている開館時間を延長して午後7時に統一するほか、南小学校及び花岡小学校に新たに児童クラブを開設しようとするものであります。

議案第141号は、大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、産科医療補償制度の見直しにより、加入掛金が3万円から1万6,000円に減額されることに伴い、平成27年1月から市立病院の分べん介助料を改定しようとするものであります。

議案第142号から議案第149号までの8件は、公の施設の指定管理者の指定についてであります。

これは、指定管理の期間が本年度末をもって終了する8件15施設について、27年4月からの指定管理者を指定しようとするものであります。

議案第150号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、起終点に変更が生じた市道路線を廃止しようとするものであります。

議案第151号は、市道路線の認定についてであります。

これは、道路改良計画に基づく道路の築造に伴い、起終点に変更が生じた釈迦内産業団地線など4路線を市道に認定し管理しようとするものであります。

議案第152号は、本日差しかえをお願いいたしました平成26年度大館市一般会計補正予算（第6号）案であります。

今回の補正は、3億9,609万5,000円の追加で、補正後の予算総額は341億3,713万円となる見込みであります。最初に、歳出の補正の主な内容について申し上げますと、総務費にふるさと応援寄附にかかわる関連経費及び番号法への対応に伴う基幹業務システムの改修事業費を追加したほか、源泉所得税等の追加納税分を計上。民生費に障害者自立支援給付費を追加。農林水産業費に農地集積協力金を追加したほか、稲作経営安定緊急対策資金保証料助成補助金を計上。教育費に小学校教師用教科書等購入費を計上。災害復旧費に農林業及び公共土木施設の現年発生災害復旧工事費等を追加しております。また、職員の人件費については、人事異動等に伴う補正をしております。次に、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、国庫支出金に障害者自立支援給付費負担金、現年発生災害復旧費負担金を追加。県支出金に同じく障害者自立支援給付費負担金を追加したほか、農地集積に係る水田農業推進費補助金を追加。市債に現年発生災害復旧事業債などを追加したものであります。

また、第2条第2表に釈迦内産業団地用地造成工事の継続費の設定を、第3条第3表に債務負担行為の補正を、第4条第4表に地方債の補正をお願いしております。

議案第153号は、平成26年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案であります。

今回の補正は、介護保険制度改正に伴うシステム改修費用を計上し、その財源として一般会計繰入金等を追加するものであります。

議案第154号は、平成26年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案であります。

今回の補正は、片山及び山瀬の2財産区勘定の土地貸地料・立木売却収入等をそれぞれ基金に積み立てるものであります。

議案第155号は、平成26年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、給与費・材料費等の追加により補正後の予算総額は117億3,428万3,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債の追加により補正後の予算総額は13億6,621万7,000円となる見込みであり、支出では建設改良費の追加により補正後の予算総額は15億3,970万4,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に債務負担行為の追加を、第5条に企業債、第6条に経費の流用に関する事項、第7条にたな卸資産購入限度額の変更を、第8条に重要な資産の取得についてお願いしております。

議案の概要については、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（中村弘美君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村弘美君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（中村弘美君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、12月1日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時48分 散 会
